



ともだち共立

第30号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

男女共同参画の推進による「ウェルビーイング先進地域、富山」の実現 ～若者や女性からも選ばれる富山県を目指して～

富山県知事政策局働き方改革・女性活躍推進室
女性活躍推進課長 山口 康志



男女共同参画推進員の皆様には、日頃から本県の男女共同参画の推進にあたり、積極的な取組みをいただき、改めて感謝申し上げます。

県では、富山県民男女共同参画計画＜第5次＞（R 5. 3 月策定）に基づき、各種施策を進め、すべての県民の皆様が生き生きと自分らしく暮らせる、男女共同参画の推進による「ウェルビーイング先進地域、富山」の実現に向けて取り組んでいるところです。

女性の活躍を進めるにあたっては、特に、長時間労働を前提とした男性中心型労働慣行、家事や育児は女性の役割といった固定的な性別役割分担や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づき、見直していくことが不可欠と考えております。このため、今年度は、多くの企業経営者のご参加のもと、「企業トップセミナー」を開催し、ジェンダーギャップやジェネレーションギャップの解消、女性が活躍できる職場環境づくりに官民一丸となって取り組むことを確認し合いました。また、職場や家庭・地域において、性別に関わるアンコンシャス・バイアスに気づき、解消に向けた行動につなげていただくため、特設サイトを設け、「思い込みアルカモ！？キャンペーン」を実施しているほか、県内4ブロックで「女と男のパートナー会議」を開催し、普及啓発の強化を図ったところです。

皆様の各段のご協力のもと、こうした取組みを進めることで、反響も大きく、社会全体の男女共同参画への興味・関心、女性活躍の機運の盛り上がりを日々感じております。

来年度はさらに、家庭や地域におけるアンコンシャス・バイアスの解消に向けた取組みを加速化させていきたいと考えております。また、皆様の日頃の取組みのなかで感じたことなどを研修会の機会などにご意見をお寄せいただければありがたく、皆様との緊密な連携のもと、効果的な取組みとなるように努めていきたいと考えております。

「ウェルビーイング先進地域、富山」の実現に向け、引き続き、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

この広報紙は高岡市のホームページからご覧いただけます。

ほっとホット高岡＞暮らし＞男女平等・共同参画＞富山県男女共同参画推進員高岡連絡会
https://www.city.takaoka.toyama.jp/soshiki/danjobyodo_kyodosankakuka/1/2/4742.html





8 月 26 日（土） 国吉地区

「被害者にも加害者にもならないために・・・デート DV 予防啓発講座」

講師 アプローチ

高岡市の中学 1 年生を対象にデート DV 予防啓発活動をされているアプローチの皆さんに講演をしていただきました。今回の受講生は、私たち大人でしたが、時折、中学 1 年生の気持ちになって受講しました。

DV は、親密な関係の中に、身体的、精神的、性的、経済的、デジタル暴力で支配してしまうために起きています。DV を防ぐためには、対等な関係を作ることが大切です。そこで、「アイメッセージ」で伝えることを教えていただきました。ポイントは、①アイ＝「私」を主語にする、②結論を先に言う、③気持ちを率直に伝える、④代わりの案を出す、です。

私たちの生活の中で、家族、地域、社会、必ず人との関わりがあります。アイメッセージで伝え、より良い関係を築いていきたいと思います。



11 月 25 日（土） 高陵地区、下関地区合同

「女性目線での防災対策～地域女性ネット高岡の活動を通して～」

講師 地域女性ネット高岡

5 月 5 日には高岡市内で震度 4 の地震を観測したほか、7 月には県内初の線状降水帯による豪雨災害が発生するなど、近年災害が多く発生していることから、今回は『防災』をキーワードに懇談会を開催しました。

実際に持参した防災グッズが紹介され、どれも 100 円ショップやホームセンターで購入できるものであること、避難所に全てが揃っているわけではないことなど、実例を交えながらわかりやすく講演をしていただきました。防災グッズについて、使い捨ての下着や圧縮されたタオル、石鹸などが小さなポーチにまとめられているなど参考になることも多く、男性目線で聞いていても大変有意義な内容の講演でした。

「避難所はホテルではありません。」という言葉が非常に印象的でした。避難された方の中には手ぶらで避難所に来られて、とても不便を感じられた方も多かったようです。いつ起こるかわからない災害ではありますが、準備だけは怠らないようにと強く思いました。



活 動 報 告

6 月 24 日（土）定例会「男女共同参画週間」

『自分らしく生きる未来をつくる』 ～性別役割分担意識から考えるジェンダー平等～

講師 富山県立大学工学部教養教育センター准教授 濱 貴子さん

男女共同参画週間のセンター企画講座として、濱貴子さんを講師にお招きして、性別にかかわらず、一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮し、自らの意思によってあらゆる分野に参画し喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会についてお話ししていただきました。



講座では、内閣府のデータや歴史的背景を基にしたお話し、ワークショップを通じて、性別による役割分担意識について理解を深めました。推進員からは「歴史的背景から男女平等の推移や現状を知ることが出来てとても勉強になった。」「少子化社会での男女平等の重要性を強く感じた。」などの意見がありました。男女共同参画の更なる普及啓発が重要と思います。

10月28日（土）定例会「男女平等 EXPO 高岡 2023」

『家事シェア研究家から学ぶ！『チーム家事メソッド』』

講師 NPO法人 tadaima! 代表 三木 智有さん

講師の三木智有さんは、居心地の良い家庭には家事育児を夫婦で楽しむことが大切と、2011 年に NPO 法人 tadaima! を設立されました。三木さんは、日本唯一の家事シェア研究家として、家事シェアを広める活動の傍ら、夫婦での家事分担だけでなく、子どもへの家事教育を地域で担える場作りに力を注いでおられます。



講座では、自分たちに合った家事・育児シェアスタイルを見つけるためのワークショップを交えながら、今日から実践できる家事・育児シェアの方法やケンカにならない家族会議の方法を学びました。家事シェアの基本ワザ「〇〇していないほうが〇〇する」という家事を同時に行うパラレル家事やコミュニケーションツールとして受け取り方が変わる Good&Better のフィードバックの方法を教わり、参加者各々が取り入れやすい手法を身に付けることができました。推進員からは、「コミュニケーションの大切さ、家事シェアの仕方など具体的な対策をあげてもらって見直すことたくさんあった。」「家事だけではなく、社会生活にも当てはまる内容の講義だった。」との意見が寄せられ、新たな気づきが生まれた定例会となりました。

8月5日（土）地域防災研修

「老若男女共同参画で進めよう！高岡の地域防災～推進員の力を活かそう～」

講師：NPO 法人ひと・みち・まち 理事長 大坪 久美子さん

昨今、大規模災害等が頻繁に発生し、地域における防災が重要課題となってきていることから、高岡連絡会として地域防災に主眼を置き、かつ、推進員自身が学んだことや気づいたことを今後の活動に活かし、実践できるようにとの思いを込め、標記テーマで研修会を開催しました。

推進員の参加人数は10名と少なかったが、その分、充実した研修内容となり、特に、日頃から災害に備え、地域でみんなの力を活かし、協力・活動する機会を設けることで、仮に災害が起きなかったとしても、地域がより良い地域となるといった、いわゆる、「地域防災＝地域づくり」であること、また、みんなの力を活かすことは、すなわち老若男女共同参画することであることを再認識する機会となりました。

併せて、今後、地域防災力を高めるために推進員として何をなすべきかといった視点でワークショップを行いました。その中で、各地域で地域防災をテーマとしたミニ地区懇談会の開催を促したり、地域の各種団体・組織に対し、防災の観点も踏まえ、性別や立場に関わらず、多様な人材の活用必要性を訴えていくことが大切であるといった意欲的な提案等もなされ、大変意義のある研修となりました。



高岡七夕まつりに参加しました

8月に高岡駅前・中心市街地で開催された「高岡七夕まつり」に、男女平等・共同参画の啓発と高岡連絡会の活動周知のため、「マイ七夕」を作成し、参加しました。



編集後記

『ともだち・共立 30 号』をお読みいただきありがとうございます。社会において男女が差別無く平等な立場で活躍していくことを目的に、講演会やミニ地区懇談会を開催し、見て聞いて学んだことを今後の生活に役立てていきたいと思ひます。また、「ジェンダーバイアス」についても身近なところから広めていけたらと思っています。ご協力いただいた皆様には心より感謝いたします。

（竹林 健一）

広報部員

副会長 山元 裕美

部長 畠山 新平

畔川 恵介 江尻 大介

北山 聖子 小林 徹也

竹林 健一 出村 直美

土肥 一哲 養口 栄理子

山口 新太郎（五十音順）